

サークルの 語り部に聞く

居場所があれば
学生生活も
楽しくなる!

「新大プレスそよかぜ」

新潟日報社のバックアップで1万部を発行

学生新聞……大抵どこの大学にでもあるものです。大学によっては複数の新聞があるところもあります。入学を経て様々な部活、サークルから勧誘のピラをいただきました。しかし、その中に学生新聞のものはありませんでした。学友会誌も見てみました。名前だけは載っていました。「そよかぜ」それが新潟大学公認の学生新聞の名でした。

実を言うと、それほど学生新聞にこだわっていたわけではありませんでした。しかし、なんとなく、本当になんとかですが大学公認でありながら学友会に所属していないサークル「そよかぜ」のことが気になっていました。5月、いいえ、もう6月に入った頃だった

でしょうか。アパートのポストに一枚のピラがありました。「そよかぜ説明会」の知らせでした。こうして私は「そよかぜ」の一員となったのです。

「新大プレスそよかぜ」は新潟日報社のバックアップをいただいて1万部を発行しています。それは創立から現在まで変わりません。また新潟日報販売店NIC新大前に編集室を置いてあります。これが学友会に所属していない理由でした。

廃刊の危機!?

メンバーが足りない!!

2003年の現在「そよかぜ」は7年目になります。私が加入した2001年は創立5周年の節目にあたる年でした。しかし、その記念すべき5年目に、メンバー

の不足から廃刊の危機を迎えていたのです。事実2001年にそれまでの月刊から隔月刊に変わっていました。しかも2月号の発行から3ヶ月間発行がありませんでした。しかし、何とかメンバーも増えてその危機を乗り越えることができました。そして2002年には紙面を拡張し当初の形態であった4面編成へと戻すことができました。

OB・OGも超個性的

「そよかぜ」では様々な人と会うことができました。サークルのメンバーはもちろん、OB・OGの方々、詳しくは書きませんが、(いい意味で)かなり強烈な個性をもったOBもいました。そしてNIC新大前のスタッフの方々。取材でお会いした様々な部活、サー

クル、大学関係の皆さん。新大祭でお世話になったFM新潟のスタッフさん。たくさんの人と会うことができました。その中で人と関わるのが苦手だった私自身も少し変わったような気がします。「そよかぜ」は本当に私にとってとても居心地のいい「居場所」です。

1年生へのメッセージ

「とにかく、自分にとっての居場所を見つけることだと思います。サークルでも部活でも何でも良いと思います。一匹狼が好きだって人はそれでも良いと思います。自分が納得できるのなら。大学ではたくさんの人と会う機会があります。その出会いのチャンスをどうするかはあなた次第です。」



左：椿 智彦さん（経済学部3年）
右：岡本拓也さん（新大プレス編集長/法学部3年）

「たくさんの人と会うことができました。その中で人と関わるのが苦手だった私自身も少し変わったような気がします。」

新潟大学生で作る大学・地域の情報紙
「新大情報便 そよかぜ」



<http://www.on.rim.or.jp/nunp/>
パソコンのモニタ上で、創刊号から最新号までの「そよかぜ」全バックナンバーを電子版（PDF形式）で閲覧できます。



「そよかぜ」配布エリア

「新大情報便 そよかぜ」って何？

「新大情報便 そよかぜ」は、新潟大学や地域の情報を、学生や大学周辺の一般の方々に提供することを最大の目的に掲げ、新潟大学のサークル「新大プレスそよかぜ」が編集・発行している情報紙（新聞）であります。

記事の内容は、学生を取り巻く大学周辺の地域、または大学自体に密着した「地域密着型」であり、社会時事問題は扱わず、ソフトな話題を扱います。

「新大情報便 そよかぜ」の概要

創刊 1996年4月（サークル設立は1996年3月）
発行部数 10,000部（創刊より現在まで同じ）
発行日 1996年4月創刊～2001年度：毎月第3週（月刊）
2002年度：奇数月最終週（隔月）
紙面 面）タブロイド版 モノクロ4ページ
配布形態）無料配布

「そよかぜ」入手方法、閲覧方法

- ・新川より西、越後線より北、五十嵐1の町より東のエリアにお住まいで、「新潟日報」「毎日新聞」「スポーツニッポン」「日本経済新聞」を購読の方は、発行日の朝刊に、折り込みの形態で「そよかぜ」が入っておりますので、ぜひご覧下さい。
- ・新潟大学構内にも置いてありますのでご自由にお持ち下さい。置いてある場所は、「生協レジ」「人文法経済棟の学務」です。
- ・実際の紙面をご覧になりたい方は、「附属図書館 新聞閲覧室」にバックナンバーを置いてありますのでご覧下さい。



取材・原稿執筆・企画

記者（ライター）の主な活動です。

全体会議において決まった担当のイベントなどに赴き、メモ取りや写真撮影、インタビューなどを行う取材活動を行います。

そして取材をもとに原稿を執筆して、編集に上げます。

他にも新連載や特集記事などの企画を立案して全体会議に持ち込んだりもします。

編集

編集者（エディター）の主な活動です。

発行1～2週間前の夕方に編集室に集まり、記者が用意した記事原稿や写真をパソコンに取り込んでレイアウトソフト等を駆使して紙面のカタチにしていきます。